

森の通信

Museum and Cultural Institutions of Miyazaki Prefecture

宮崎県
総合博物館だより
第9号

発行日/平成元年11月22日

発行/宮崎県総合博物館

〒880 宮崎市神宮2丁目4番4号

TEL (0985) 24-2071



ナボリ近郊の風景(1841・スプリングフィールド美術館蔵)

19世紀の中頃、コローはミレーらと共にパリの近郊バルビゾンを訪れ、美しいフォンテーヌブローの森や働く農民の姿を愛情深く描きました。

暮れなずむ森の様子や太陽の光を浴びて輝く木立や川面を描いたコローの作品は、柔らかい

銀灰色に包まれ、穏やかなロマンの世界へと誘います。これらコローの作品は、後の印象派絵画を予告したものとして高い評価をうけています。

この展覧会では、世界の美術館50余館が所蔵するコローの名品98点を紹介します。

銀灰色の詩情の輝き

バルビゾン派の巨星 コロー展

会 期 - 平成元年11月23日(木)~12月24日(日)

休館日 - 11/27、12/4・11・18 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料 - 大人 900 (700)円 高・大生 600 (400)円 小・中生 400 (200)円

(消費税込み)

* () 内は前売・団体(20名以上)の料金

(永井)

よそから来た土器Ⅱ

自然災害と縄文土器

もし、霧島や桜島が山の姿が無くなるほどの大爆発をおこしたら、南九州に住む私達の生活はどうなるでしょう。その答えにヒントを与えるできごとが縄文時代におこりました。鹿児島佐多岬の南西およそ40kmの地点に硫黄島と竹島があります。これはおよそ6500年まえに大爆発をおこし海に沈んだ直径20×15kmの鬼界カルデラという火山の一部で、このときの火山灰が南九州に厚く積もっているアカホヤです。

アカホヤが降る以前、南九州では貝殻文円筒土器や瀬ノ神式土器の文化が栄えていましたが、アカホヤ（それに先行する地震、津波、火砕流の被害も大きく直接人々を死にいたらしめた）は、南九州の自然、植物や動物などに大きな被害を与え、それらを食糧としていた私達の先祖の生活をおびやかす全滅に近い状態に追い込ん



曾畑式土器(宮崎市下田畑遺跡)

だ、あるいは被害の少ないよその地域に移住させたと考えられています。数十年、数百年をかけて徐々に生態系が回復すると、無人に近い南九州に、九州の北部からそれまでとはまったく異なった土器をたずきえて、新しい人々（かつて移住した人々の子孫かもしれません）が入ってくるようになります。縄式や曾畑式などよそから来た土器の背後には、鮮やかなアカホヤ火山灰に封じ込まれた、縄文時代早期南九州人の悲劇が隠されていたのです（石川）

森のゼミナール (資料紹介)

姿を消しつつある水生昆虫

近年、河川や湖沼の汚濁により、大きな影響を受けたひとつに水生昆虫があげられます。タガメやゲンゴロウがその代表選手です。タガメは、体長5～6.5cmの日本最大の半翅類です。池沼や水田に生息し、オタマジャクシや小魚などを餌としています。宮崎県内でも、昔はいたるところにすんでいましたが、今では、木城町・南郷村・北方町の狭い範囲に追いやられています。また、ゲンゴロウは、体長4cm程の肉食性甲虫類です。これは、近頃県内での情報がなく、大変心配される種類です。2種とも農業や汚染に弱く、水が汚れるとすぐにいなくなってしまう。

さて、各地で清流をよみがえらせようという

試みが盛んに行なわれるようになってきました。「ホタルの里」づくり運動や無農薬栽培などです。環境意識が高まるにつれ、徐々に水質が良くなりつつある現在、再び、元気よく泳ぐタガメやゲンゴロウの姿を見たいものです。



木城町産のタガメ (岩崎)

博物館で郷土を知ろう!!



(上南方小)

私たちの郷土の自然や歴史・美術など目で見ると郷土学習の場として、県内各地から、小・中学校の皆さんが来館し学習しています。本年度も10月末までに次表の学校の友達や団体が来館しにぎわいました。

県内来館団体一覧(4~9月)

4月	宮崎小、今町小
5月	日知屋小、真幸小、宮崎南小、三納小、明道小、都城市立東小、押方小、葉子野小、三股西小、日向市自民党日向支部婦人部役員、東郷小、西郷村連合小、宮崎交通株ガイド課、鉄肥小、宮崎小、延岡市立東小、財光寺南小、石山小、五十市小、四家小、本脇小、乙房小
6月	市木小PTA、山本小、北郷小PTA、沖水中西都市愛育幼稚園父母の会
7月	有水中、松葉中PTA、住吉南小家庭教育学級、移動県民学校
8月	笛ヶ水親子会、草川小、佐土原町下郡阿地区世代間交流
9月	都城市市民大学、移動県民学校、川南町重門白百合学級
10月	有水中、高崎中、幸ヶ丘小、本庄小、笛水小、長田小、細田中、北郷小、富田中、深年小、狭野小、本郷小、麓小、石河内小、広瀬小、宮崎港小、都城市立南小、唐瀬原中、住吉小、吉野方小

行ってみよう!!

高鍋町歴史総合資料館

高鍋藩秋月氏の居城であった、高鍋城跡の四時風光に恵まれた舞鶴公園の一角に、昭和61年10月開館しました。

高鍋は古墳、城跡、城堀、城下町に見るように歴史の町であり併せて文教の町とも言われます。藩校明倫堂創設以来、教学を重んじ多くの人材を輩出しました。こうした歴史と伝統を基盤に資料館は誕生しました。

第一展示室は大昔の生活用具(石器・土器)を主体に、中世、近世と年代順に資料を配置して高鍋の歴史を振り返ります。その他明治の偉人、武具等も展示しています。

第二展示室は農、林、商、漁業の用具、生活の諸道具等の民俗資料を展示し、農家を復元して往時を想起する場としました。

館外には高鍋藩抱え刀工の鍛冶場を復元し鍛刀の姿や関係資料を紹介しました。又万歳亭(旧

秋月邸)の離れを改築復元し、秋月種樹、種英公を偲ぶと共に当時の建築技法も観覧していただきます。

高鍋の貴重な文化遺産を見学、研究される人びとを資料館は待っています。



高鍋町歴史総合資料館 中武 弘

●案内 高鍋町大字南高鍋町6937-2

J R 高鍋駅からタクシー 約10分

T E L 0983-23-1322

東京国立近代美術館所蔵作品による

「日本の現代美術 -1945年以後」展 平成2年正月開催!

1945(昭和20)年以後、日本の社会は大きく変化し、それにともなう美術界でもさまざまな表現活動が展開され、多くの話題作・問題作

や名作が生まれました。

本展覧会では、すぐれた近・現代美術品の収集で国内外に知られている東京国立近代美術館所蔵の名品の中から、戦後のわが国を代表する日本画・油彩画・版画・彫刻などの79作家87点を展示・紹介するものです。

戦後40数年間の日本美術を概観し、その力強さを実感できる好機になることと思います。多くの方々のご観覧をお待ちします。



梅原龍三郎「噴煙」一九五四

会 期

平成2年1月9日(火)～1月28日(日)

午前9時～午後4時30分

休館日=1/16・1/22

入 館 料 (消費税込)

大 人 600(500)円

高・大生 400(300)円

小・中生 200(100)円

※()内は、団体(20名以上)・割引の料金

(家中)

3月までの催しもの

	12 月	1 月	2 月	3 月
自 然 史	白岩山の植物 	21日	23日	せきつい動物とその化石
考 古	よそから来た土器Ⅱ(縄文)	21日	23日	よろいかぶと
歴 史	ある上級武士の生活	7日	9日	古地図と絵図 
民 俗	炊事・調理道具	21日	24日	製糸・機織り用具
美 術		9日	日本の現代美術	28日
埋蔵文化財センター	丸野第2遺跡(田野町)	14日	20日	立切地下式横穴墓群(高原町)
西都原資料館	縄文時代の集落	20日	12日	—古墳時代一墓制—
	団横穴墓(西都市)	21日	23日	製糸用具(西都市)

森の名画座・森のコンサート……% エンドア「魔空の妖精」、% 新春邦楽演奏会、

% 母と子の音楽会、% キングソロモンの秘宝

森の学習会……% 「コロノの人と作品」、% 古代日向の文化交流

埋蔵文化財センター……遺跡をたずねて・映写会・毎月第4土曜日、(%・%・%・%)

